

VI 計画の推進に向けて

「花や緑」を育み、楽しみながら、花育を推進していくためには、市民や生産・流通・販売等関係者、教育・福祉関係者、そして新潟市が、この計画の掲げる花育の理念やそれを具現化した目的に向かって一体となって、それぞれの役割を担い、主体的に取り組むことが望まれます。

1 それぞれの役割

○市民

- 家庭や学校、職場など、生活に身近な場所で「花や緑」を育てたり、飾ったりすることで、安らぎや潤いのある生活を楽しみます。
- 地域における花育活動に積極的に参加し、世代を超えた交流や生産者等との交流を深めます。
- 新潟の「花や緑」の自然や歴史、文化に親しみ、学び、守り、次の世代に継承します。

○生産・流通・販売等関係者

- 生産・流通・販売関係者や、ガーデニング、フラワーアレンジメント等の「花や緑」の関係者は、その専門的な知識・経験を基にして、市民に花育活動の機会を提供します。
- 仕事等を通じて「花の大産地にいがた」を市民に知ってもらうことに積極的に取り組むとともに、「花や緑」の地産地消を推進します。

○教育・福祉関係者

- 次の世代を担う子供たちに対して、「花や緑」に親しみ、育て、楽しむ機会を創出し、やさしさや美しさを感じる情操面の向上を図ります。
- 生産・流通・販売等関係者など、花育活動を実践する人々と協力し、教育や福祉の活動にこれを積極的に取り入れます。
- 子供からお年寄りまで、学校等や福祉活動の現場を通じて、花育によるさまざまな世代の交流や地域の交流の場をつくり、地域コミュニティの活性化につなげます。

○新潟市

- 花育推進の拠点施設である「食育・花育センター」を通じて、「花や緑」に対する知識の習得、健全な心の育成、花育の市民運動としての展開推進などに向け、情報発信やイベントの開催等により花育の普及を図ります。
- 公園・緑地の整備を行い、新潟市に住む人、訪れる人が新潟の「花や緑」に触れる機会を提供するとともに、花育マスターの派遣を通じて、地域での花育推進を支援します。
- 市民、教育・福祉その他の関係者・団体などと連携・協力し、花育に関する施策を総合的かつ計画的に推進します。

2 推進体制

○花育推進委員会

○花育は幅広い分野に関わっていることから、様々な関係者・団体が協働・連携し、一体的に計画の推進に取り組むことが必要です。その中心的組織が花育推進委員会で、これらの関係者・団体により構成され、計画の進行管理を行います。

○新潟市

○計画の推進には、市役所内部の関係部局が横断的に連携することが不可欠であることから、連絡会議を設置し、施策を総合的・効果的に展開します。

○施策の展開にあたっては、関係部局と花育推進委員会が一体となって取り組みます。

3 計画の進行管理

○計画を推進する一環として、花育の現状や取り組みの進捗状況等を把握し、必要に応じて対策を講ずるなど、着実に計画を推進していくための進行管理を行います。

○花育推進委員会が計画の進捗状況の評価を行い、その評価については公表するとともに、社会情勢の変化や計画の進行状況等により計画の見直し等が必要となった場合には、花育推進委員会の意見を踏まえ、必要な措置を講じます。

新潟市花育推進委員会 委員名簿

(平成27年1月現在)

氏名	役職等	備考
森田 龍義	新潟大学名誉教授	会長
片岡 道夫	新潟県花木振興協議会 会長	副会長
石井 たき	新潟県花つばき協会副会長	
石川 昇	株式会社 グリーンプラザ 代表取締役	
伊藤 明世	NPO法人 まちづくり学校理事	
小川 章	内野小学校 校長	
関 京子	にいがた花絵プロジェクト実行委員長	
高橋 みゆき	公募委員	
竹内 貴美	こまくさ保育園 園長	
玉木 隆幸	株式会社 新花 代表取締役社長	